大曲厚生医療センターだより

発行月日　平成27年1月10日
発行責任者　後　藤　伸　一
No.19

基本理念

私たちは、安全で質の高い
患者様本位の医療を提供し
信頼される病院を目指します

基本方針

1. 常に医療の質の向上と安全な医療の推進に努め広く医療従事者の育成を行います。
2. 患者様の権利と意思を尊重し、十分な説明と同意に基づく医療を提供します。
3. 地域の医療・保健・福祉施設と緊密に連携し地域医療の充実に努めます。

ごあいさつ

大曲厚生医療センター
副院長（内科）　仁　村　　隆

新病院「大曲厚生医療センター」に移転して、早くも半年以上が過ぎました。屋上ヘリポートの設置、高規格救急車と救急隊員が院内に常駐する県内初の救急ワークステーションの開設、救急診療でも使用頻度の高いCTを２台設置、県内２施設目の緩和ケア病棟の新設、更に立体駐車場や、介護施設「やすらぎ」に渡り廊下でつながるなど、病院基本理念にあるような質の高い、患者様本位の医療が提供できるような体制が整いました。

また新病院開院以降も、より充実した看護が提供できる７対１の看護配置の導入や、更に厚生労働省の方針に沿った、回復期の患者様に対応する地域包括ケア病棟の新設を行いました。これに対応すべく看護職員の増員もなされています。更に喜ばしい事に、平成27年度の臨床研修医の応募が26年度の倍以上の８名を確保することができました。

外来部門でも、県内でも有数の受け入れ患者数の救急部門を拡充し、多くの患者様を同時に診療できるようになりました。救急車が直接院内に搬入し、速やかな診療開始ができ、手術にも対応できるようになりました。内科系部門でも、発熱や咳の患者様の、待合室や診療室を換気の整った別の部屋に分けて、感染の拡大を防ぐ体制が充実しました。院内の案内専門のスタッフの雇い入れ、まだまだ充分とは言えませんが、患者様の待ち時間短縮を図るべく、予約制の充実、待ち時間を患者様が有効に利用できるように、呼び出しブザーの導入を行いました。地域の医院・診療所などとの連携を図り、センターとしてより重症の患者様により多くの時間や医療資源を投入すべく、安定した患者様の近隣の医院・診療所への紹介を勧めています。

現在病院では、これらの体制に自己満足せず、外部の評価も得るべく、公益財団法人日本医療機能評価機構による病院機能評価の更新を平成27年３月に受審予定です。これに向けて全ての診療のプロセスの見直しやバージョンアップを進めています。スタッフの数の増員のみならず、質の向上も図るべく、職員研修も数多く行い、研修医勉強会なども、研修医自身の意見も取り入れながら、更なる充実を図っています。患者様のみならず、医療者側からも選ばれる病院を目指しています。

地域の皆様にも、当院のサポーターとなって頂き、応援・また厳しいご指摘を宜しくお願い申し上げます。

最後に寒い季節、暖かくして風邪などひかれませんようお過ごしください。

患者様の権利

患者様の立場にたった医療を提供するため、以下の権利を尊重します。

1. 人格を尊重されて、丁寧で思いやりのある医療を受ける権利
2. 良質で安全な医療を公平に受ける権利
3. 医療の情報や説明を理解した上で、治療方針を自己決定できる権利
4. 診療に関する情報などのプライバシーを保護される権利
5. セカンドオピニオン（別の医師の意見）を求める権利

JA秋田厚生連
大曲厚生医療センター
秋田県大仙市大曲通町８－65
TEL 0187－63－2111（代表）
FAX 0187－63－5406
ホームページ
URL http://www.senbokukumiai-hp.gr.jp/
E-mail senbokuk@crocus.ocn.ne.jp

こんにちは・・・４階西病棟です。

当科は、病床数41床　スタッフ32名
産婦人科･外科･口腔外科の混合病棟です。

４階フロアーには、３つの病棟があり、それぞれのナースステーションが奥待っているため、エレベーターを降りた瞬間「ここは、どこ？」と悩まれる方を多くみかけます。迷路のような印象をお持ちになるかもしれませんが、それには理由があります。

当科は、出産された大切な赤ちゃんをお預かりしています。また分娩室・授乳室・ＬＤＲなど他の部署にはない部屋が設置されています。新病院となり、個室も増え母児同室制の環境も整えました。そのため安全面からセキュリティを厳しくし、誰でも自由に侵入できないシステムとなっているためなのです。

病棟の特色は、０歳の新生児から100歳の患者様など年齢も病状も多岐にわたりますが、生命の誕生から終末期までの看護援助ができることです。

分娩・手術・化学療法など治療は複雑ですが、医師・助産師・看護師・他職種がチームとなり急性期の看護を展開しています。

短期入院の患者様が多く、病院一番の病床回転率で、平均在院日数は、６.８日、毎日が入院・退院の激しい病棟です。また少子高齢化が進み、入院中の患者様の平均年齢が向上する中で、唯一若い世代の方が入院されている病棟でもあります。

新病院となり環境面・看護体制などまだまだ不十分な面はありますが、患者様のご意見を大切にし迅速な対応を心掛けています。

新しい命の誕生から、エネルギーを頂きスタッフ一同笑顔で、患者様に寄り添った看護を目標に頑張っています。

こんにちは・・・４階東病棟です。

皆さんこんにちは。私達４階東病棟は病床数５１床で、小児科・耳鼻科・消化器科・ドックの患者さんが入院している病棟です。勤務者は小児科医師３名、耳鼻科医師３名（研修医含む）、消化器科医師３名と看護師２９名、看護助手２名、病棟担当事務２名、病棟担当薬剤師１名、クラーク３名で構成されています。

入院患者様は、生れたばかりの赤ちゃんから９０歳代までとかなり年齢に幅があります。

小児科は早産児や低出生体重児・感染性疾患の新生児のほか肺炎・気管支炎・気管支喘息など呼吸器系の病気で入院する子供さんが多くいます。私達は入院している子供さんだけでなく、ご両親とのコミュニケーションを大切にし、安心して入院生活が送れるよう一人ひとりの病状や年齢に応じた対応を心がけています。

耳鼻科は耳・鼻・喉の疾患が主ですが、甲状腺・咽頭周辺の疾患に対する手術をはじめ悪性疾患や感染性疾患による点滴治療や放射線治療を行っています。病気のため「食事をする」「コミュニケーションをとる」などが困難になった患者様の心に寄り添いながらより良い看護を提供できるよう努力しています。

消化器科は食道・胃・腸・肝臓・胆のう・膵臓の疾患を抱えた患者様が多く入院してきます。手術前の検査や内視鏡的治療が中心となりますが、不安なくスムーズに治療や検査が受けられるよう患者様の立場になり説明を行っています。また、終末期の患者様もおり、疼痛コントロールを行いながら苦痛軽減を図るとともに、患者様やご家族の気持を大切に看護援助を行っています。

急性期から終末期まで様々な患者様が入院していますしおり忙しい病棟ではありますが、「思いやり・優しさ・笑顔」をモットーに患者様に寄り添った看護を提供するため日々努力しています。これからも皆様に愛される病棟を目指しスタッフ一同、一丸となり取り組んで行きたいと考えております。

はじめまして　緩和ケア病棟です

大曲厚生医療センターのスタートと同時に、県内２番目の緩和ケア病棟が開設されました。

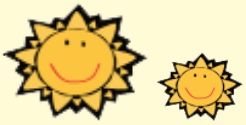
緩和ケア病棟というと皆さんはどのような印象をお持ちでしょうか？ 緩和ケアって？ 緩和ケアって何をするところなの……とまだまだ認知不足のようです。

緩和ケア病棟の理念は『がんに伴う「からだ」と「こころ」のつらさを和らげ、いつものあなたらしい生活が送れるよう、あなたと家族を支えます』です。患者さんの身体の痛みのコントロールをしながら、一人の人として希望や思いを理解し、患者さん・ご家族の生き方を大切に支えるケアを行っております。病棟内には、ベッドのまま散歩ができるテラス、そしてテラスには植菜ボランテイアの方による色とりどりのバラの花や、ゴーヤ、ミニトマト、ピーマンなどの野菜が育てられています。また、自宅で過ごされているように料理ができるミニキッチンが設置されています。また、お花見や夏祭りなど患者さん・ご家族が一緒に笑い楽しんでいただけるような季節毎のイベントも企画しております。

病棟から自宅へ、または施設へと退院支援・調整を行ったり、残念ながら病棟で最期を迎える場合には、最期までその人の使命（妻として、夫として、母として等）の役割を果たし、その人らしく生きていけるように、多くの職種と連携をとりチーム医療の力を強く感じながら患者・家族を支えています。

「大切なことは、どれだけのことをしたのでなく、どれだけ心をこめたか」というマザーテレサの言葉を忘れずに前に進んでいきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

皆様こんにちは



５階西病棟

５階西病棟（地域包括ケア病棟）は患者様専用エレベーターを降りて右側に向かって頂くと私達の５階西病棟があります。

平成２６年５月に新築移転し、その後国の医療政策に基づき、急性期病棟と回復期病棟に分かれ、平成２６年８月１日より地域包括ケア病棟として運営する事になりました。

患者様は外科・消化器・内科・整形・泌尿器といった科や疾患の種類を問わず様々な科の患者様が入院しています。

看護スタッフはベテランからフレッシュナース２５名、看護補助者７名で患者様のお世話をさせて頂いております。

地域包括ケア病棟とは、急性期治療が終了して、直ぐに在宅や施設へ移行するのには不安のある患者様に対して、在宅や介護施設への復帰に向けた医療やリハビリ、在宅支援を行っております。在宅復帰を円滑に行う為に、「地域包括ケア病棟入院診療計画書」に基づいて、主治医、看護師、専従リハビリスタッフ、在宅復帰支援担当者（ソーシャルワーカー）が協力して患者様に合った、在宅復帰支援を行っています。

施設に退院する患者様に対して、施設職員及びケアマネージャー、家族の面談等を行い情報共有しながら患者様に合った退院後の支援を行っています。在宅に帰る患者様へも患者様、家族が安心してスムーズに在宅移行でき、在宅療養を継続出来るために、患者様に寄り添った看護提供と支援を行い地域医療者と連携を図っています。

これからも「笑顔・やさしさ・気遣いの心」を持ちながら受け持ち看護師１人１人が、患者様の早期退院に向けた看護援助をさせて頂きますので、お気づきの点がありましたら、皆様のご指導をよろしくお願いいたします。

れんけい室タイムズ 「Face to Face」 Vol 13

1 室長あいさつ

佐々木　順　孝

９月の日照時間が平均より長めだったため、今年の紅葉は全国的に色づきが鮮やかだったようで、見に行けなかった身としては残念に思っていたら、もう初雪が降ってしまいました。世の中のテンポどころか季節の移り変わりにまで置いてきぼりにされているようでやや寂しさを感じる今日この頃です。

小野地院長　挨拶

今年も11月12日に恒例の「れんけいのつどい」が開催されました。今年の講演は循環器科科長の高橋陽一郎先生にお願いし、「心血管カテーテル治療も始めました」のテーマでお話していただきました。先生が来られてから、より積極的な心疾患の治療ができるようになり、我々職員も嬉しく思っています。毎年のことながら、院内外の先生方、職員も多数参加していただき、懇親会ではさらなる親睦を深めることができました。

高橋循環器科科長講演

五十嵐副院長　挨拶

大仙・仙北医師会
会長　池田芳信先生

大仙・仙北医師会
副会長　田口圭樹先生

会場風景

さて、５月から「大曲厚生医療センター」として生まれ変わった当院は、8月から「地域包括ケア病棟」を、秋田県内の厚生連病院では初めて設置し、急性期、慢性期の患者さんに対応しています。まだ試行錯誤的なところはありますが、本来の地域包括ケア構想に乗る形での運用に期待が持てます。

連携室では、病院本来の業務である入院治療や手術・検査にマンパワーを投入できるようにするため、かかりつけ医や他の連携医病院、施設との連携を通して、逆紹介や退院支援などに、今後もかかわっていければと思っています。

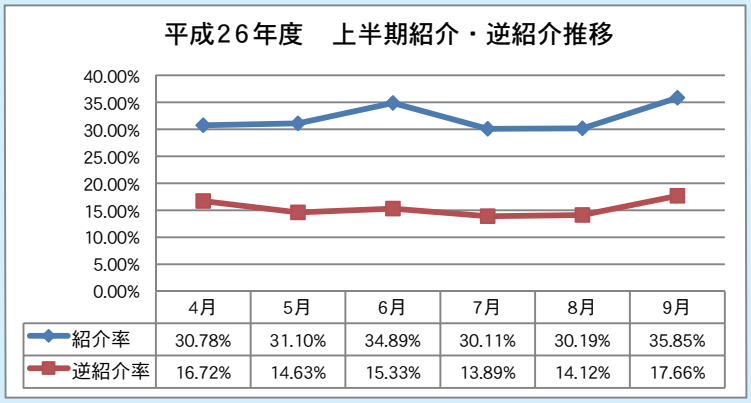
◆ 懇親会風景 ◆

2 実績報告

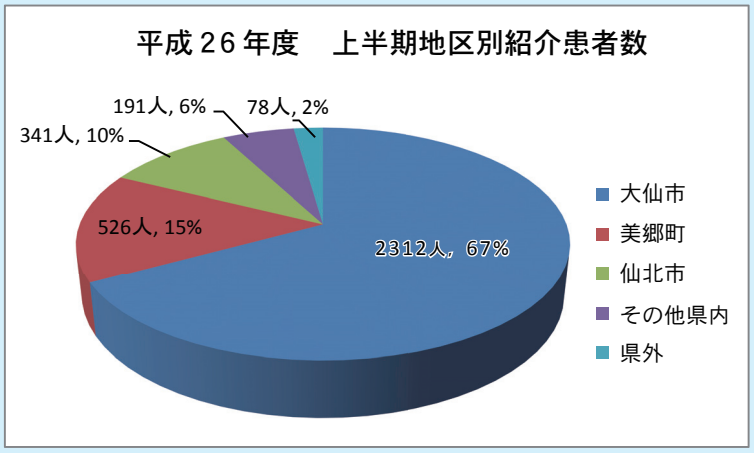
平成26年度　上半期の紹介患者についての実績です。

４月から９月までの平均紹介率は32.15％、逆紹介率は15.39％となっております。

地区別紹介患者数では総数3448人、内訳は大仙市2312人と地域の医療機関から約３分２の患者様のご紹介をいただいております。今後も病診・病病連携の強化を目指し、地域の皆様が安心して受診していただけるよう努力して参りたいと思います。



	4月	5月	6月	7月	8月	9月
紹介率	30.78%	31.10%	34.89%	30.11%	30.19%	35.85%
逆紹介率	16.72%	14.63%	15.33%	13.89%	14.12%	17.66%



かかりつけ医(ホームドクター)を持ちましょう！

あなたやご家族の健康管理について、何でも相談できるかかりつけ医(ホームドクター)がいると安心です。専門的な検査、治療が必要な時には適切な病院・診療科を紹介してくれます。

【地域医療連携室へのお問い合わせ】

ＴＥＬ：**0187−63−2111**（内線2131）
ＦＡＸ：**0187−63−0004**（専用FAX）
平　日：**8：30〜17：00**

ドックのご案内

●日帰りドック

検査日：毎週月曜日〜金曜日
午前７時40分〜午前11時頃
（多少時間が前後します。）
料　金：36,720円
・下記項目追加の場合
子宮がん検診3,240円
乳がん検診　3,240円
肺がん検診　6,480円
加算となります。

●一泊二日ドック

検査日：毎週月〜火曜日、木〜金曜日
午前７時40分〜
翌日午前11時30分頃
（多少時間が前後します。）
料　金：66,960円（女性の場合、子宮がん検診が含まれます。）
乳がん検診追加の場合3,240円加算となります。

ボランティア募集

身体の不自由な方やお年寄りが車を乗り降りする際の手助けや、車椅子や受付の補助をしてくださるボランティアの方を募集しております。
週１日からで結構ですので、是非お願いします。

お問い合せは総務課へ。電話またはＥメールで。

ためになる話

私達の暮らしにある医療機器

「AED」って？

AED(自動体外式除細動器)とは、心臓がけいれんして血液を流すポンプ機能を失った状態(心室細動)になった心臓に対して、電気ショックを与え、正常なリズムに戻すための医療機器です。

2004年7月より医療従事者ではない一般市民でも使用できるようになり、病院や診療所、救急車はもちろんのこと、空港、駅、スポーツクラブ、学校、公共施設、企業等人が多く集まるところを中心に設置されています。

AEDは、操作方法を音声でガイドしてくれるため、簡単に使用することができます。また、心臓の動き(心電図)を自動解析し、電気ショックが必要な方にのみ電気ショックを流す仕組みになっています。

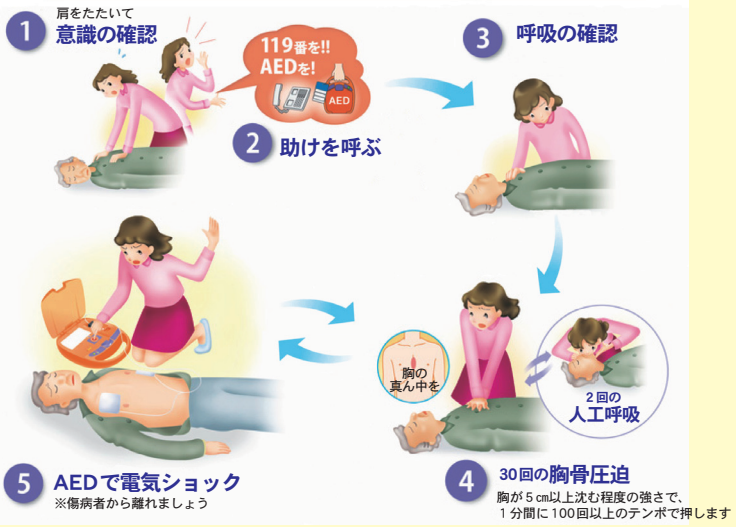
2012年中に一般市民の方がAEDを使用した事例は、1.802件となっています。

※平成25年版消防白書

心肺蘇生で救う命

心停止や呼吸停止となる可能性のある傷病を未然に防ぐことが重要です。心停止の可能性がある方を発見したら、できるだけ早く119番通報を行い、できるだけ早く胸骨圧迫・人工呼吸を含む心肺蘇生を実施しAEDを用いて電気ショックを行い、できるだけ早く医療機関で処置するこが、大切な命を救うことにつながります。

心肺蘇生のながれ



診療案内　外来診察医一覧

《土・日曜日と祝祭日は全科休診です》
◎は新患担当。
平成27年1月5日現在

診療科	月	火	水	木	金	受付時間
内科	◎山口	佐々木	秋田大学 PM・進藤（呼吸器）	◎山口	◎阿部	8:30～11:30
	◎仁村	◎茂木	◎仁村	◎茂木	◎仁村	
	腎外来 富樫	糖尿病外来 高嶋	―	腎外来 小松田	糖尿病外来 阿部	糖尿病外来・腎外来 8:30～11:30
循環器科	◎加藤	◎高橋	◎加藤	◎木曾	◎高橋	8:30～11:30 再来：完全予約制
	―	加藤	―	佐々木	加藤	
	―	呼吸器内科（午後・予約制）	心臓血管外科（第1・3・5）	―	呼吸器内科（秋田大学）11:30まで	火13:00から 金11:00まで
消化器科	◎五十嵐	◎五十嵐	◎五十嵐	◎沖口	◎五十嵐	8:30～11:30
	関根	沖口	関根	―	中島	
神経内科	―	―	―	―	菅原	13:00～完全予約制
小児科	小山	五十嵐	五十嵐	矢野	五十嵐	8:30～11:30
	大村・深谷	小山	小山 ☆心臓外来(秋田大学)	深谷・大村	大村	☆第1・第3水曜日 13:30～
外科	小野	大村	平賀	中山	高野	腫瘍内科(秋田大学)
呼吸器外科	中川	―	中川	―	中川	月曜8:30～10:30 水・金曜8:30～11:00
	渡邉	―	渡邉	―	渡邉	※病棟業務終了後次第診察
泌尿器科	熊澤	神崎	熊澤	熊澤	神崎・灘岡（各週交互の診療）	8:30～11:00
	灘岡	灘岡	神崎	喜早	喜早	
産婦人科（婦科）	山本	長尾	山本	高橋	長尾	8:30～11:00
産婦人科（産科）	長尾	山本	高橋	長尾	高橋	
耳鼻咽喉科	垂石	垂石	垂石	垂石	横溝	8:30～11:00
	横溝	横溝	横溝	―	―	
整形外科	魚住	佐藤心一	佐藤心一	佐藤研	佐藤心一	8:30～11:00
	後藤	洞口	後藤	後藤	魚住	
	曽木	曽木	魚住	洞口	菅原	
皮膚科	―	秋田大学	秋田大学	―	秋田大学	火・金8:30～11:00 水 13:00～16:00
	新規の患者様は、他医院又は院内他科より紹介された方。再来の患者様は、完全予約制とさせて頂きます。					
脳神経外科	佐々木	佐々木	佐々木	大前	佐々木	8:30～11:30
眼科	火・木のみ					
緩和ケア科	秋山・新田	秋山・新田	―	秋山・新田	―	完全予約制 9:30～12:00
放射線科	―	安倍	―	―	―	8:30～11:30
歯科	鈴木・角田	鈴木・角田	鈴木・角田	鈴木・角田	鈴木・角田	8:30～11:30 予約制
口腔外科				岩手医科大学		

※手術等により担当医師が変更になる場合がありますので、ご了承ください。